

**地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査**

都道府県名	宮崎県	事業実施主体	宮崎県、延岡市	地域再生計画名	延joy・延rich・延life「ひなたの杜・海・街と人との共生するまちづくり計画」
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	宮崎県：農村整備課長、森林経営課長、 延岡市：土木課長、総合農政課長、林務課長		

①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標		基準年度		中間目標値		最終目標値		中間評価		達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価  新型コロナウイルスの影響により令和2年度には168,000人まで大きく落ち込み、現状では中間目標値を下回っている。しかし近年は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い徐々に増加傾向にあることに加え、継続して実施している自然体験型観光機能強化補助事業やのべおか民泊推進事業等で延岡市の魅力のアピール強化に取り組んでいる。  木材の生産をはじめとして、国土の保全、水資源の涵養、地球温暖化となる二酸化炭素の吸収・固定機能など、森林の持つ公益的機能を維持するため、森林環境保全整備事業、循環型林業促進事業・林業担い手育成推進事業等を実施し、林業生産活動についての支援を行っている。中間実績値は基準値からは大きく上回っているが、現状では惜しくも中間目標値をやや下回った。  農地所有者の高齢化等により農地の維持管理や環境保全を行う担い手不足が問題になっている中、日本型直接支払交付金事業や新規就農者確保・育成支援事業等を実施し新規就農者の確保に取り組んでいる。中間実績値は基準値からは大きく上回っているが、現状では惜しくも中間目標値をやや下回った。
	目標 1	観光交流の活性化 (年間宿泊者数の増加)	257,000 人	R1	293,000 人	R5	256,000 人	310,000 人	R7	×	指標 総数	達成 数	
	目標 2	農林業振興及び森林機能の改善 (森林整備面積の増加)	304ha	R2	323ha	R5	317ha	335ha	R7	×	3	0	
	目標 3	農林業振興及び森林機能の改善 (新規就農者数の増加)	27人	R2	45人	R5	42人	57人	R7	×			
②事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価							
特別措置を適用して行う 事業			計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み								
	市道整備事業（整備延長）		2,350m	642m	2,350m	中間年度までの進捗率は27.3%。計画変更（軽微な変更）を行い、事業費を増加して、計画期間のR7年度末までの整備完了を目指していく。							
	広域農道整備事業（整備延長）		1,756m	1,756m	1,756m	中間年度までに整備が完了している。							
その他の事業	林道整備事業（整備延長）		15,920m	7905m	15,920m	中間年度までの進捗率は49.6%。計画期間のR7年度末までに整備完了するため、引き続き計画に則した整備を目指していく。							
計画外で独自に実施した 事業	森林環境保全整備事業		森林の持つ公益的機能を維持することを目的とした循環型林業の推進を行う			森林整備事業等の制度を活用し、循環型林業を推進することにより、安定的かつ継続的な林業生産活動の支援を行っている。							
	循環型林業促進事業		循環型林業の推進により、森林資源の保全と林業の成長産業化の推進を行う			森林環境保全事業の目的をより細目化・個別化し、安定的かつ継続的な林業生産活動の支援を行っている。（延岡市単独事業）							
	林業担い手育成推進事業		林業担い手の育成及び確保を図るため、林業事業体及び林業就業者を支援する			新規就業者が安定的かつ継続的な林業生産活動が行えるように、育成・確保のための各種支援を行っている。（延岡市単独事業）							
	日本型直接支払交付金事業		農地・農村が有する多面的機能の維持・発揮や耕作放棄地の拡大防止を図る			中山間地域を含む農村地域において、農業者が行う農地維持や環境保全などの生産活動について支援を行っている。							
	新規就農者確保・育成支援事業		新規就農者の確保と育成支援を行い、地域農業の維持発展を図る			農業法人や新規参入による自営就農を行っている者について、補助事業・制度の要件に該当しない場合において、総合的な就農支援を行っている。（延岡市単独事業）							
	自然体験型観光機能強化補助事業		自然体験型観光について、自然体験のPRを強化し観光客の増加を図る			自然体験型観光に対し、窓口・案内・事務局強化を行うための運営補助を行っている。（延岡市単独事業）							
	のべおか民泊推進事業		民泊や体験学習を利用した旅行の誘致を推進する			教育旅行誘致の推進を目標とした民泊事業について、PRや窓口事務等の強化を行っている。（延岡市単独事業）							
③評価方法	数値目標の実現状況を基に外部有識者による意見聴取を行い評価を行った。												
④中間評価の公表方法	延岡市林務課のホームページに掲載する。												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した市道・広域農道・林道の一体的な整備により、農林業の振興や観光交流の活性化等の効果を概ね発現できていると考えている。広域農道の整備が完了し、今後、市道及び林道の整備の進捗に伴い、さらなるアクセス向上による中山間地域の森林施策における効率化が見込まれる。また、目標達成に向けてソフト事業等の関連事業との連携を行いながら、森林整備面積や新規就農者のさらなる増を見込んでいる。												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況					有りの場合その具体的内容							
	地域再生計画の見直し（有・無）					設計・工程等の見直しにより、市道桜小路野地線については終了年度を1年延伸し、その他の路線についても事業量・事業費を変更して早期竣工を目指す。							
	令和7年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 51,346千円					広域農道の整備については完了しKP1及びKP2を既に達成している状況であるが、市道および林道の計画工程を完了させることにより、より効果（時間短縮）を高める見込みである。							
⑦今後の方針等に対する 対応	整備事業量、事業費の変更認定申請を予定。 ●市道の整備事業費の見直しによる変更認定申請を予定。 ・総整備延長（認定時）2,350m→（見直し後）2,510m [160m増] ・令和7年度の事業費（認定時）81,800千円→（見直し後）193,492千円 [111,692千円（うち交付金55,846千円増）] ・総事業費（認定時）537,000千円→（見直し後）656,100千円 [119,100千円（うち交付金59,550千円増）] ●林道の整備事業費の見直しによる変更認定申請を予定。 ・総整備延長（認定時）15,920m→（見直し後）13,319m [2,601m減] ・令和7年度の事業費（認定時）364,000千円→（見直し後）355,000千円 [-9,000千円（交付金4,500千円減）] ・総事業費（認定時）1,843,889千円→（見直し後）1,882,869千円 [38,980千円（交付金20,407千円増）]												